

平成 19 年度岩手県競馬組合事業計画（案）等について

平成 19 年 2 月 27 日

財 政 部

- 1 平成 19 年度岩手県競馬組合事業計画（案）及び予算
- 2 平成 18 年度競馬組合 2 月補正予算の概要
- 3 岩手県競馬組合設置条例の一部改正
- 4 岩手県競馬組合職員の退職手当に関する条例の一部改正

今泉副管理者 宮事務局長

18億円赤字
 売上原価の削減
 街中場外の準備
 繁天子教材

} +4億赤字 22億赤字

05年	32億1400万	純損益
07年	21億6700万	"

コスト削減の障害

- 公債の削減
- 管理費の削減

→ 売上増の（可成り）発現
 売上増に伴っての資産売却の増加

売上は自然体で、管理費を下げる（20億）という考えは、立派な
 '06年度 実行計画
 新

依って販売は伸びている 全体的傾向

協同法人（各地方競馬） 16主催者 利害の一致が実現している

◎ 運営協会の売上増が55%増の場合、公債の削減が一致すれば、赤字は

◎ 1400人台（盛岡）影響が50人程度

（ 想定売上増の削減 禁止
 下回りの吸収で30%削減計画
 計画 半期毎の干渉）

平成 19 年度岩手県競馬組合事業計画（案）

（平成 19 年 2 月 13 日）

平成 19 年度の岩手競馬は、平成 18 年 11 月 20 日に策定した新しい岩手県競馬組合改革計画（以下「新計画」という。）に基づき、競馬事業の再生に向け新たに定めた競馬事業存廃の基準のもと、当組合と競馬関係者が一体となって収支均衡を実現させながら、安定した事業経営を持続して競馬事業の継続発展に向けた取組みを進めます。

1 基本方針

平成 19 年度の岩手競馬は、次の基本方針に従い事業を運営します。

- (1) 競馬事業は「レース」という商品をお客様に楽しんでいただくサービス産業であり、「優勝劣敗」というレースの本質に立ったお客様にとって魅力あるレースの提供に努めます。
 - 平成 19 年度の岩手競馬は、競馬が本来有するスポーツとしての魅力を発揮することに重点を置いて競走の質の維持向上を図ります。
 - 他の地方競馬主催者や J R A（日本中央競馬会）との事業連携を推進しながら、多様性のある中身の濃い競走を提供するなど発売競走の魅力向上に取り組めます。
- (2) 徹底した経営管理による事業収支の均衡と安定化の基に、持続可能な事業運営に努めます。
 - 収支の均衡と安定化を実現するため、新計画に定める経営指標に基づく経営管理を徹底し、引き続き、業務全般にわたるコスト削減に取り組むとともに、岩手県競馬組合運営協議会（仮称）で収支状況を検証しながら、年間を通じて発売額に見合った事業運営に取り組めます。

2 ガバナンス（参加型組織運営）の確立

意思決定プロセスの透明性を高め、経営責任を明確にすることや、それぞれの競馬関係団体等へのアカウントビリティ（説明責任）を徹底し、関係者の合意のもとで事業に取り組んでいけるように、構成団体の管理者副管理者による会議を定期的開催し経営方針等の決定を行うとともに、当組合、構成団体及び競馬関係者（馬主会、調騎会、厩務員会）等で構成する岩手県競馬組合運営協議会（仮称）を設置し、当組合経営の改革方向や経営状況の検討（半期毎には収支状況を検証し、収支均衡を図るための調整を実施）を適宜行います。

3 競走計画

平成 19 年度岩手競馬の競走は、競走関係費を経営指標（発売収入の概ね 8%）に基づき 24 億円とし、1 日 10～11 レースを基本に重賞競走、特別競走及び一般競走を合わせて年間 1,200～1,300 レース実施します。

また、計画策定にあたって留意した点は次のとおりです。

- (1) 発売収益、競走体系を考慮した開催日程
- (2) ファンの要望の実現（芝競走並びに距離区分の増）
- (3) 競走馬資源（量）の確保を目的とした競走条件の緩和（転入条件の改正等）
- (4) 競走馬資源（質）の確保を目的とした奨励金の新設（ボーナス制度）

項目		平成 19 年度計画	【参考】新計画
開催日程		21 開催（水沢 13 開催、盛岡 8 開催）、120 日 ・開幕：平成 19 年 4 月 7 日（土） ・閉幕：平成 20 年 1 月 14 日（月）	21 開催、126 日を基本
レース数		1,200～1,300 レース	1,200～1,300 レース
競走体系 （予定）	ダート グレード 競走	ダービーグランプリ(G I) サラ系 3 歳 ・盛岡競馬場、2,000m、1 着賞金 4,000 万円 南部杯(G I) サラ系 3 歳以上 ・盛岡競馬場、1,600m、1 着賞金 6,000 万円 マーキュリーカップ(G III) サラ系 3 歳以上 ・盛岡競馬場、2,000m、1 着賞金 3,000 万円 クラスターカップ(G III) サラ系 3 歳以上 ・水沢競馬場、1,400m、1 着賞金 3,000 万円	全国統一ダートグレード 競走 4 競走を実施
	重賞競走	年間 20 レース（前年度比 4 レース減）	平成 18 年度ほぼ同数
	特別競走	年間 80 レース（前年度比 5 レース減） C 級においても実施	A 級・B 級のみ実施、C 級は廃止
	その他	芝競走年間 100 レース（前年度比 23 レース増） 芝の重賞競走 1 レース、特別競走 3 レース新設	芝競走を拡充
賞金・手当		最低 1 着賞金 ・一般 3,4 歳以上 C3 級 20 万円 ・一般 2 歳 C3 級 28 万円 出走手当 ・1 開催 1 出走 8 万円 ・1 開催 2 出走 6 万円	優良馬確保のためのイン センティブになり得る賞 金・手当体系を構築

4 発売計画

平成 19 年度岩手競馬の発売を次のとおり実施します。

(1) 他の競馬主催者の競走を組み入れ弾力的なレース運営（自場発売）

発売収入の確保を図るため、他の競馬主催者の競走を組み入れるなど弾力的なレース運営に取り組みます。

新計画発売見込み	平成 19 年度予算	備考
18,313 百万円	19,518 百万円	発売見込額の時点修正

(2) 他の競馬主催者における岩手競馬競走の発売拡大（広域委託発売）

従前の委託発売に加え、集客力の見込める発売施設で岩手競馬競走が発売できるよう他の競馬主催者への協力要請を進めるとともに、従前の商圈以外の地域における発売にも積極的に取り組みます。

新計画発売見込み	平成 19 年度予算	備考
7,067 百万円	6,247 百万円	金沢、東海主催者の発売額修正

(3) インターネット発売の促進

大都市圏での商圈拡大を図るため、夜間予約投票、ネット新聞等の新たな取組みの検討を進めるほか、「楽天」による発売など競馬ファンが利用しやすい環境整備に取り組みます。

新計画発売見込み	平成 19 年度予算	備考
1,508 百万円	1,436 百万円	開催日数減による修正

(4) 平日における他競馬主催者競走の積極的な発売（広域受託発売）

岩手競馬開催日以外の日、これまで以上に南関東競馬など他競馬主催者競走の発売を拡充することとし、昼間競馬とナイター競馬のリレー発売にも積極的に取り組みます。

新計画発売見込み	平成 19 年度予算	備考
12,489 百万円	11,189 百万円	発売見込額の時点修正

5 施設計画

盛岡市内の中心商店街に当組合直営施設を1箇所設置します。

項目	内容	備考
名称	盛岡市街地場外勝馬投票券発売所（仮称）	
設置形態	小規模街中場外	非滞留型施設
設置場所	盛岡市	
開設時期	平成19年4月（予定）	
設置規模	設置面積 200～300㎡ 利用人員 200人程度 窓口数 発売窓口 自動5～7台 払戻窓口 自動2台、有人1台	

新計画発売見込み	平成19年度予算	備考
285百万円	271百万円	開催日数減による修正

6 営業計画

既存ファンの確保や新規ファンの拡大のため、次のとおり取り組みます。

（1）積極的なPR

競馬開催日の認知を図るため、効果的なPRを実施します。

- ① 広告表現を含めた各メディアの活用
- ② タウン誌の活用
- ③ 集客が見込める場所や店舗への競馬情報の掲出

（2）来場満足度の獲得

- ① お客様の来場経験年数や来場目的により場内の空間分け（ゾーニング）を実施
- ② 冬季間に暖かい飲み物を提供するなどの時節サービスを実施

（3）地域や企業との連携強化

- ① 地域芸能イベントの実施
- ② 地域PRイベントの実施
- ③ ご当地レースにちなんだイベントの実施
- ④ 企業との互惠イベントの実施
- ⑤ 企業や地域内のファンクラブ設立の促進

7 収支計画

発売収入の25%以内で事業を運営できる収支構造とします。

(単位：百万円)

項目		新計画	平成19年度予算	増減	
発売額	自場発売	18,313	19,518	1,205	
	街中場外発売	285	271	△14	
	広域委託発売	7,067	6,247	△820	
	インターネット発売	1,508	1,436	△72	
	計(A)	27,173	27,472	299	
その他収入	広域受託協力金	1,864	1,676	△188	
	その他	868	811	△57	
	計(B)	2,732	2,487	△245	
売上高計(C)=(A)+(B)		29,905	29,959	54	
売上原価(D)		(75.0) 22,425	(75.4) 22,583	158	
売上総利益(E)=(C)-(D)		(25.0) 7,480	(24.6) 7,376	△104	
販売費及び 管理費	賞典費	(8.1)	(8.1)	0	
		2,418	2,418		
	事業 運 営 費	施設・情報システム費	(6.5) 1,944	(6.4) 1,923	△21
		開催労務費	(2.6) 792	(2.6) 792	0
		営業販売費	(1.0) 306	(1.0) 306	0
		人件費	(1.6) 468	(1.6) 468	0
		その他販売・管理費	(4.1) 1,237	(3.9) 1,172	△65
		小計	(15.9) 4,747	(15.5) 4,661	△86
計(F)	(24.0) 7,165	(23.6) 7,079	△86		
営業損益(G)=(E)-(F)		315	297	△18	
営業外費用(支払利息)(H)		(0.3) 99	(0.4) 111	12	
経常損益(I)=(F)-(H)		(0.7) 216	(0.6) 186	△30	
特別損失(勸奨退職者退職手当)(J)		△200	△164	36	
当期純損益(K)=(I)-(J)		16	22	6	

注 上段() 数値は、売上高に対する割合(%)である。

○ 新計画と平成 19 年度予算及び平成 18 年度収支見込との比較

(単位：百万円)

項 目		新計画	H19 年度予算	増減	H18 年度見込	
発売額	自場発売	18,313	19,518	1,205	20,489	
	街中場外発売	285	271	△14	0	
	広域委託発売	7,067	6,247	△820	6,882	
	インターネット発売	1,508	1,436	△72	893	
	計 (A)	27,173	27,472	299	28,264	
その他収入	広域受託協力金	1,864	1,676	△188	745	
	その他	868	811	△57	915	
	計 (B)	2,732	2,487	△245	1,660	
売上高計 (C)=(A)+(B)		29,905	29,959	54	29,924	
売上原価 (D)		(75.0) 22,425	(75.4) 22,583	158	23,106	
売上総利益 (E)=(C)-(D)		(25.0) 7,480	(24.6) 7,376	△104	6,818	
販売費及び 管理費	賞典費	(8.1) 2,418	(8.1) 2,418	0	3,322	
		事業 運 営 費	施設・情報システム費	(6.5) 1,944	(6.4) 1,923	△21
	開催労務費		(2.6) 792	(2.6) 792	0	715
	営業販売費		(1.0) 306	(1.0) 306	0	312
	人件費		(1.6) 468	(1.6) 468	0	509
	その他販売・管理費		(4.1) 1,237	(3.9) 1,172	△65	1,576
	小計		(15.9) 4,747	(15.5) 4,661	△86	5,374
	計 (F)		(24.0) 7,165	(23.6) 7,079	△86	8,696
営業損益 (G)=(E)-(F)		315	297	△18	△1,878	
営業外費用 (支払利息) (H)		(0.3) 99	(0.4) 111	12	610	
経常損益 (I)=(F)-(H)		(0.7) 216	(0.6) 186	△30	△2,488	
特別損失 (勸奨退職者退職手当) (J)		△ 200	△164	36	321	
当期純損益 (K)=(I)-(J)		16	22	6	△2,167	

注 上段 () 数値は、売上高に対する割合 (%) である。

870
557
以上
希望のFY 272016 (7-11)
再=7)

平成18年度競馬組合2月補正予算の概要

補正案件の概要は、次のとおり

1. 改革計画に基づき、構成団体からの融資を受け債務を返済するため、補正措置を行う。
2. 勝馬投票券発売収入の減額に伴う、補正措置を行う。
3. 地方競馬連携事業に伴う、補助金収入と同額の事業費及び街中場外開設にかかる経費に要する補正措置を行う。
4. 補正予算

(1) 歳入予算補正の内容

単位:千円

款	項	目	節	当初予算額	補正前予算額	補正予算額	補正後の予算額	補正理由
1 事業収入	1 競馬事業収入	1 勝馬投票券発売収入	1 勝馬投票券	32,690,000	32,690,000	△ 4,425,425	28,264,575	勝馬投票券の発売収入減
		2 入場料	2 入場料	62,000	62,000	△ 11,553	50,447	入場料の減
2 使用料及び手数料	1 使用料	1 財産使用料	1 土地、2 建物	312,401	316,401	△ 4,442	311,959	指定席料の減
3 財産収入	2 財産売払収入	1 不動産売払収入	1 不動産	820,000	1,140,250	△ 818,429	321,821	資産売却の減額(テトラック売却)
6 諸収入	2 雑入	1 雑入	1 雑入	2,343,773	2,402,331	29,813	1,591,973	地方競馬連携事業(地方競馬情報ネットワークシステム)補助金収入
						38,540		地方競馬連携事業(競馬モール投票システム)補助金収入
		2 歳入欠かん補填収入	1 歳入欠かん補填収入		13,419,175	19,579,287	32,998,462	共同場外負担金収入△398,000、広域場間場外協力金△407,053 消費税還付金収入△61,648、JRA助成金△10,860、JRA協力金△1,150 繰上充用予定額
		3 構成団体貸付金	1 構成団体貸付金			33,000,000	33,000,000	構成団体融資
7 地方債	1 地方債	1 地方債	1 地方債	1,483,000	1,483,000	△ 1,483,000	0	経営改善債の減額
			2 借換債	1,326,000	1,326,000	△ 1,326,000	0	借換債の減額
歳入予算総額				39,040,773	52,842,756	43,700,080	96,542,836	

(2) 歳出予算補正の内容

単位:千円

款	項	目	節	当初予算額	補正前予算額	補正予算額	補正後の予算額	補正理由
3 事業費	1 競馬開催費	1 開催事務費	13 委託料	47,250	47,250	△ 42,000	5,250	不用額の減(街中場外委託分)
						1,890	1,890	街中場外設計委託料
			14 使用料及び賃借料			220,991	220,991	電算システム費
						550	550	街中場外賃料(3月分)
						29,813	29,813	地方競馬連携事業費 (地方競馬情報ネットワークシステム)
15 工事請負費		38,540	38,540	地方競馬連携事業費 (競馬モール投票システム)				
		23 勝馬投票券戻金	24,190,600	23,488,614	△ 2,374,727	21,111,887	街中場外整備費(借上げ施設の内装等)	
4 公債費	1 公債費	1 元金	23 償還金、利子及び割引料	2,809,323	2,809,323	12,465,759	15,275,082	不用額の減
		2 利子	23 償還金、利子及び割引料	369,269	369,269	47,384	416,653	地方債元金償還(繰上償還元金含む)
		3 公債諸費	22 補償、補填及び賠償金			402,762	402,762	地方債償還利子の増(H17年度償)
5 諸支出金	2 公営企業金融庫納付金	1 公営企業金融庫納付金	19 負担金、補助及び交付金	315,280	315,280	△ 56,456	258,824	地方債の繰上償還に伴う公庫補償金
	3 地方競馬全国協会交付金	1 地方競馬全国協会交付金	19 負担金、補助及び交付金	389,280	389,280	△ 73,986	315,294	不用額の減
	4 構成団体返済	1 構成団体融資返済	23 償還金、利子及び割引料			33,000,000	33,000,000	構成団体融資返済
	歳出予算総額				39,040,773	52,842,756	43,700,080	96,542,836

→元金の返済は行わない
返済は元金返済のみ

○ 構成団体融資の内訳

歳出予算の内訳

(単位：千円)

項 目	補正前予算	今回補正額	補正後の予算額 (融資対象額)	備 考
電算システム費		220,991	220,991	過年度未払費用
地方債元金	2,809,323	12,465,759	15,275,082	約定、繰上償還元金
公営企業金融公庫補償金		402,762	402,762	繰上償還に伴う補償金
土地信託精算金	719,492		719,492	9月補正(第4号)
単年度損益等	2,206,135		2,206,135	当期純損失 2,166,791 その他 39,344
小計(A)	5,734,950	13,089,512	18,824,462	

歳出予算以外の項目

区 分	融 資 対 象 額	備 考
一時借入金(B)	14,174,000	構成団体 3,700,000 金融機関 10,474,000

合計

合 計 (A+B)	32,998,462	
-----------	------------	--

新しい岩手県競馬組合改革計画(平成18年11月20日)より

(参考1) 構成団体融資の検討対象となる主な債務(平成19年3月見込み 9.16公表) (単位：億円)

区 分	金 額	備 考
金融機関等借入金	295	
一時借入金	142	金融機関104.7億円、構成団体37億円
起 債	153	公営公庫52.2億円、金融機関100.5億円
繰上償還補償金	5	公営公庫繰上償還の場合
計	300	
土地信託関係	7	精算金
過年度未払金	2	19年度以降支払い予定分
計	309	
売上修正に伴う資金不足	3	18年度売上見通しの下方修正に伴う資金不足
計	312	
資産売却なし	18	資産売却なしの場合の収入減
計	330	

※ 上記の金額は、今後の状況の変化で増減することがある。

改 正 前	改 正 後
<p>管理者の権限に属する事務を分掌させるため、事務局に次の部を置く。</p> <p><u>企画総務部</u></p> <p>業務部</p> <p>総合安全部</p> <p>附 則</p> <p>1 この条例は、平成15年3月26日から施行する。</p> <p>2 岩手県競馬組合部設置条例(平成9年条例第1号)は、廃止する。</p>	<p>管理者の権限に属する事務を分掌させるため、事務局に次の部を置く。</p> <p><u>経営管理部</u></p> <p>業務部</p> <p>(削除)</p> <p>附 則</p> <p>1 この条例は、平成15年3月26日から施行する。</p> <p>2 岩手県競馬組合部設置条例(平成9年条例第1号)は、廃止する。</p> <p><u>附 則</u></p> <p><u>この条例は、平成19年3月1日から施行する。</u></p>
<p>【改正理由】</p> <p>新しい岩手県競馬組合改革計画の着実な実行を図るため、適正かつ効率的な事務を遂行するため組織を再編するものである。</p>	

岩手県競馬組合職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例 新旧対照表

改 正 前	改 正 後
<p>(趣旨)</p> <p>第1条 この条例は、職員の退職手当に関し必要な事項を定めるものとする。</p> <p>(支給方法)</p> <p>第2条 職員の退職手当及び支給方法については、職員の退職手当に関する条例(昭和28年岩手県条例第40号)及び職員の退職手当に関する条例の特例に関する条例の廃止に関する条例(昭和59年岩手県条例第4号)の規定の例による。</p> <p>附 則</p> <p>この条例は、公布の日から施行する。</p> <p>附 則 (昭和60年3月9日条例第1号)</p> <p>この条例は、昭和60年3月31日から施行する。</p>	<p>(趣旨)</p> <p>第1条 (略)</p> <p>(支給方法)</p> <p>第2条 (略)</p> <p>附 則</p> <p>1 この条例は、公布の日から施行する。</p> <p>2 <u>職員の退職手当に関する条例(昭和28年岩手県条例第40号)第5条の3及び附則第19項に係る規定は適用しない。</u></p> <p>附 則 (昭和60年3月9日条例第1号)</p> <p>(略)</p> <p><u>附 則 (平成 年 月 日条例第 号)</u></p> <p><u>この条例は、公布の日から施行する。</u></p>
<p>【改正理由】</p> <p>諸般の情勢に鑑み、定年前早期退職者に対する退職手当の基本額に係る特例を見直し、退職手当の額を減額しようとするものである。</p>	